



株式会社 アイネット

2021 年 3 月期決算説明会

2021 年 5 月 17 日

イベント概要

[企業名]	株式会社アイネット		
[企業 ID]	9600		
[イベント言語]	JPN		
[イベント種類]	決算説明会		
[イベント名]	2021 年 3 月期決算説明会		
[決算期]	2020 年度 通期		
[日程]	2021 年 5 月 17 日		
[ページ数]	35		
[時間]	14:00 – 14:42 (合計：42 分、登壇：36 分、質疑応答：6 分)		
[開催場所]	インターネット配信		
[会場面積]			
[出席人数]			
[登壇者]	3 名		
	代表取締役兼社長執行役員	坂井 満	(以下、坂井)
	代表取締役兼専務執行役員	鰐渕 浩	(以下、鰐渕)
	取締役兼常務執行役員	内田 直克	(以下、内田)

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com

登壇

司会：本日はお忙しい中、株式会社アイネット、2021 年 3 月期決算説明会、ライブ配信にご参加いただき、誠にありがとうございます。

早速決算説明会を開始いたします。まず初めに、本日の出席者をご紹介します。株式会社アイネット、代表取締役兼社長執行役員、坂井でございます。

坂井：よろしくお願いいたします。

司会：代表取締役兼専務執行役員、鰐淵でございます。

鰐淵：よろしくお願いいたします。

司会：取締役兼常務執行役員、内田でございます。

内田：よろしくお願いいたします。

司会：続きまして、本日の流れをご説明いたします。まず初めに、坂井より、今期の決算説明をさせていただきます、その後、質疑応答のお時間とさせていただきます。

なお、本日はお時間の都合上、全ての質問に回答しかねる場合がございます。あらかじめご了承くださいますよう、お願い申し上げます。

最後に、決算説明会終了後、アンケート画面が表示されますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

それでは、お時間となりましたので、始めさせていただきます。坂井社長、よろしくお願いいたします。

坂井：アイネット社長の坂井でございます。本日は、貴重なお時間を頂戴いたしまして、誠にありがとうございます。

今回の決算説明会は、初めてオンラインにて開催させていただきますが、このような環境変化に対するビジネスは非常に活況ですが、この 1 年間は新型コロナウイルス感染症拡大により、多数のお客様に影響が出て、苦戦を強いられることとなりました。

昨年 7 月に業績予想を公表させていただいたものの、想定以上にシステム開発サービスの立ち上がりが遅れて、10 期連続の増収増益が途切れてしまいました。しかしながら、第 4 四半期において

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasia.com



は、後ほど詳しくご説明いたしますが、情報処理サービスやシステム機器販売において、売上高、売上総利益率ともに前年同期比を大幅に上回る結果となりました。

今後も日本の経済活動の回復や、デジタルトランスフォーメーションをはじめとした IT 投資への需要の高まりとともに、引き続きお客様に対して積極的にビジネスを展開し、5月7日に発表いたしました今期の業績予想値に向け突き進んでまいります。

それでは、本日の決算に関するご説明を始めさせていただきます。

まず、本日のご説明内容でございます。初めに会社概要、次に2021年3月期の業績概要、そして中期経営計画の取組みにおける注力事業およびトピックスについて。最後に2022年3月期通期業績予想の順番でご説明をさせていただきます。

inet 会社概要（2021年4月1日現在）

- 商 号 株式会社アイネット
- 設 立 1971年4月22日 **(50周年)**
- 本 社 横浜市西区みなとみらい3-3-1
- 資本金 3,203百万円
- 創業者 創業者最高顧問 池田 典義
- 代表者 代表取締役
兼社長執行役員 坂井 満
- 子会社 株式会社ISTソフトウェア
株式会社ソフトウェアコントロール
株式会社アイネット・データサービス
- 社員数 1,726名（連結）
1,012名（単独）
- 事業所/支店/データセンター
東京事業所
札幌支店、仙台支店、中部支店、大阪支店、中四国支店、福岡支店
第1データセンター、第2データセンター

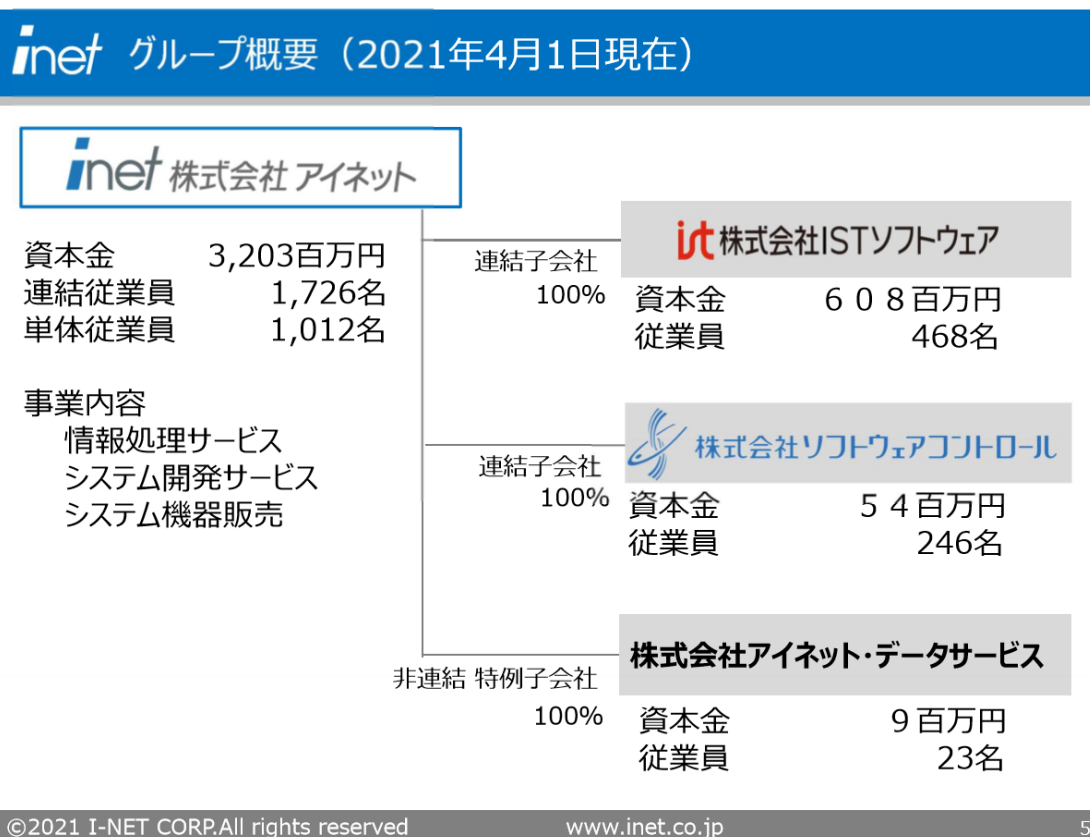


まず初めに、会社概要についてご説明することで、当社へのご理解を深めていただきたいと存じます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

設立は1971年で、先月4月22日で創業から50周年を迎えることができました。これはひとえに皆様の温かいご支援のおかげと、心より感謝しております。資本金は32億300万円。本社は横浜のみなとみらいにございます。社員数は連結で1,726名、単独で1,012名となっております。

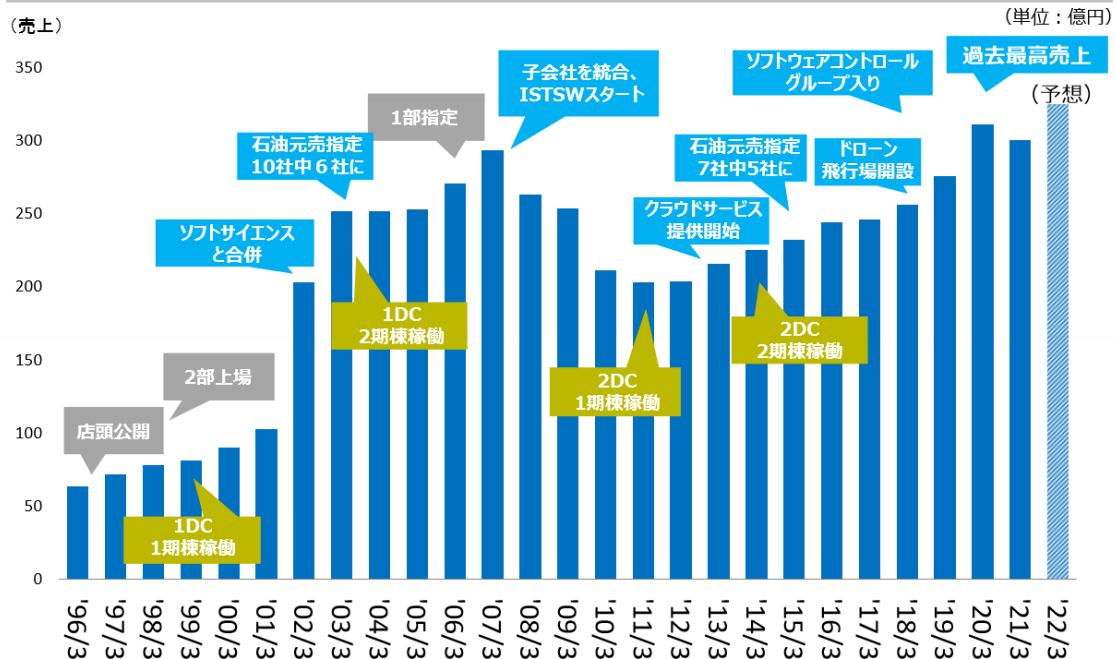


これは、アイネットグループの構成概要です。現在、子会社はIST ソフトウェア、ソフトウェアコントロール、アイネット・データサービスの3社となっております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

inet 沿革（店頭公開～現在・予想）



©2021 I-NET CORP.All rights reserved

www.inet.co.jp

6

次の画面をご覧ください。これは店頭公開から現在までの沿革と売上をグラフにしたものです。

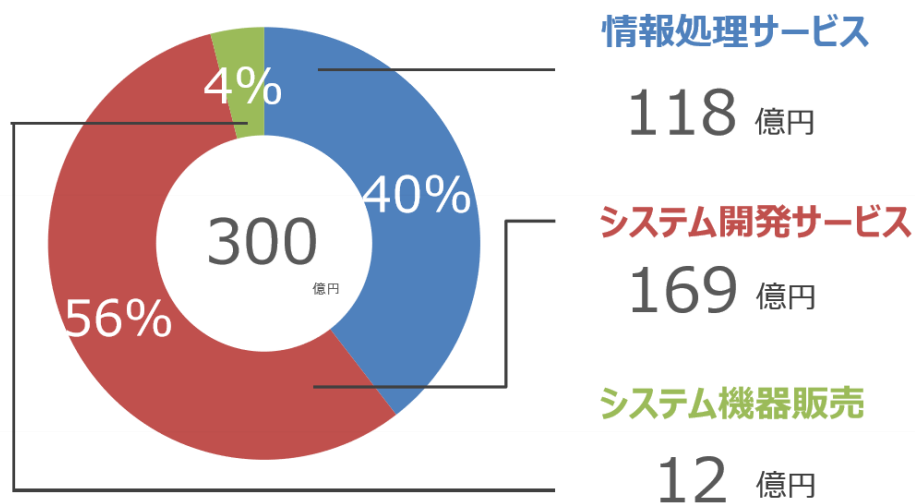
2020年3月期に、過去最高売上を達成し、2021年3月期は新型コロナウイルス感染症の影響により、やや減少となりましたが、引き続き高水準を維持しております。後ほど決算数値と併せてご説明いたします。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



当社は、以下の3つのサービス区分に分けて、お客様にサービスを提供しています。



次に、事業内容をサービス区分別にご説明いたします。当社のサービス区分は、情報処理サービス、システム開発サービス、システム機器販売の三つがございます。この円グラフは、2021年3月期の年間実績に基づくもので、弊社の事業の全体像をお示ししています。

このうち、売上の大半を占める情報処理サービスおよびシステム開発サービスについてご紹介いたします。

まず初めに、情報処理サービスについてご説明させていただきます。

inet スtockビジネスの拡大により安定成長を実現

ストックビジネスの定義

- 毎月定額で売上を得られるもの
- 次年度以降も契約が継続されるもの
- スtockビジネス=情報処理サービス

ストックビジネス拡大メリット

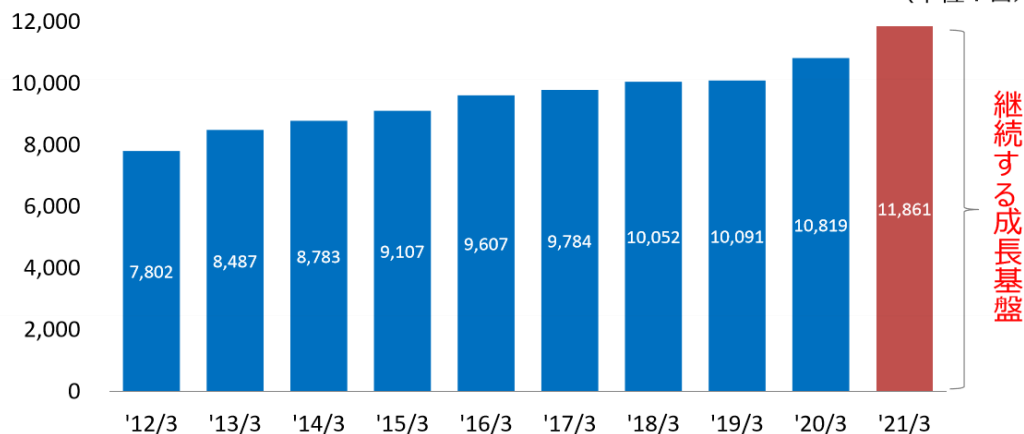
- 継続的な売上による成長基盤
- 高い利益率
(直近売上総利益率23%)
- 1人あたりの売上・利益の増加

ストックビジネスの例

- クラウドサービス
- データセンターサービス
- SS受託計算 (ガソリンスタンド)
- プリント・封入封緘

過去10年のストックビジネス売上高の推移 (連結)

(単位: 百万円)



©2021 I-NET CORP. All rights reserved

www.inet.co.jp

8

当社は、ストックビジネスを強化し、安定した成長基盤の拡充に注力しております。データセンター、クラウドサービスや創業ビジネスであるガソリンスタンド向けの受託計算などの情報処理サービスはストックビジネスです。一度ご契約いただくと、毎月使用料がいただけるビジネスでございます。

下のグラフは、当社の過去10年のストックビジネスの売上高の推移を表しています。ストックビジネスである情報処理サービスが安定した成長を続けており、当社の成長基盤であることがお分かりいただけるかと存じます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

【データセンターサービス】



【クラウドサービス】

データセンター上で、
様々なクラウドサービスを展開

・テレワーク支援ツール

リモートデスクトップ

VIDAAS
Private Cloud Desktop as a Service

ビジネスチャット

ChatLuck

ファイル共有

Cloudstor
Private Cloud HDFS Storage Service

・その他クラウドサービス

名刺管理

名刺情報管理サービス
名刺バンク

クラウド基盤

Next Generation
EASY Cloud

情報処理サービスの主な事業をいくつか説明させていただきます。まずデータセンターサービスとクラウドサービスは、当社が現在力を入れているビジネスであります。当社は、このビジネスに業界内でもいち早く注力してまいりました。

左の日本地図をご覧ください。当社は4棟の自社データセンターを横浜に保有しており、写真がその横浜のセンターでございます。それ以外にも北海道、長野、大阪の提携データセンター会社を加え、相互バックアップなどを行い、災害対策にも備えています。

また、右側は、当社のデータセンターを利用したクラウド上でご提供しているサービスの一例です。さまざまなサービスを提供していることがお分かりいただけると思います。最近では、コロナ禍におけるテレワーク需要の高まりも相まって、引き合いを大変多くいただいております。

サポート

日本

03-4405-3160

米国

1-800-674-8375

フリーダイヤル

0120-966-744

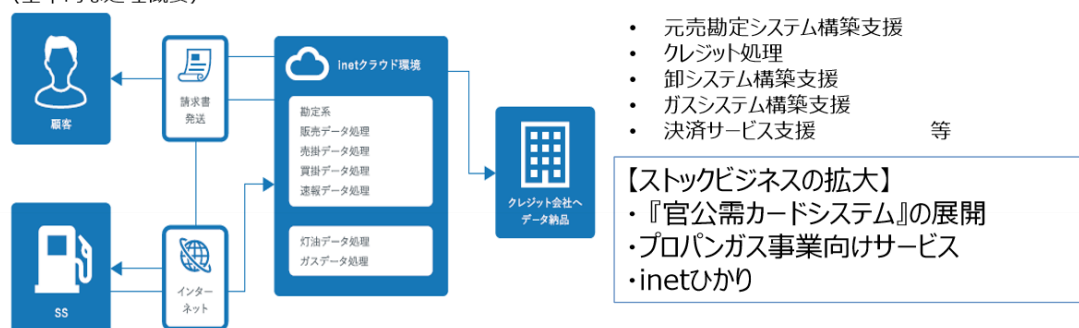
メールアドレス

support@scriptsasia.com

創業以来、石油販売に関する計算処理代行等を全国のガソリンスタンド（SS）にサービスとして提供しています。



（基本的な処理概要）



©2021 I-NET CORP. All rights reserved

www.inet.co.jp

10

情報処理サービスについて、もう一つご紹介いたします。ガソリンスタンド向けの受託計算は、弊社の創業ビジネスであり、以来50年間取り組んできた事業です。おかげさまで、全国に約3万軒あると言われるガソリンスタンドのうち約3割に当社のサービスを何らかの形でご利用いただき、国内トップシェアを占めております。

ガソリンスタンドでは、主に現金、クレジットカード、掛け売りなどの決済手段がございますが、当社ではこのうちクレジットカードと売掛の決済サービスを提供しております。

例えば、クレジットカードですが、このカード決済を当社データセンターで集中処理をしています。また、売掛データはガソリンスタンドに代行して計算を行い、月末には請求書を作成して発送しております。

右下の枠内に記載してございますが、ガソリンスタンド向け受託計算ビジネスのサービスの拡充として、全国各地の石油組合様が行っている緊急車両向けの燃料給油の仕組みをサポートする、官公需カードシステムを昨年より展開いたしました。

その他、プロパンガス業界向けの受託計算サービス、光回線サービスであるinetひかりなど、安定的な成長を確保するため、ストックビジネス拡充への取り組みに力を入れております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

業務アプリケーション開発、パッケージソフト開発、データビジネス、AIサービス、制御組込、宇宙開発など、長年培った信頼関係により、多くのお客様のデジタルトランスフォーメーションをサポートします。



金融



石油・ガス



小売り・流通



宇宙



製造



建設・不動産



鉄道・交通インフラ



医療

次ページは、システム開発サービスです。システム開発サービスは、金融業、石油・ガス業、小売り・流通、宇宙、製造業など、長年培った信頼関係により、多くのお客様のシステム設計構築を幅広い分野で行っています。

特に金融業は、近年フィンテック分野での需要が高まりを見せておりますし、特徴のあるところでは宇宙開発分野にも、1977年の気象衛星ひまわり初号機、1号機ですね、これより関与しており、人工衛星の開発や、国際宇宙ステーションの運用などを行っています。

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasia.com

お客様のニーズに合わせて様々な提案を実施し、コスト削減の実現やお客様の新たな成長ドライバーとなるようなサポートを行っております。



流通業：業務効率コスト削減



建設業：3Dシミュレーター



食品製造業：業務統合・見える化



通信業：モダナイゼーション

いくつか当社が展開しているシステム開発サービスの事例についてご紹介させていただきます。

画面左上ですが、業務効率コストの削減例として、大手小売業様で利用している発注専用端末をタブレットに置き換えて、専用端末保守費用など、運用費として年間 2,000 万円ほどを削減することができました。

また、画面右上の建設業向けのお客様には、カタログでは確認できなかった建物の外観デザインや、外壁カラーを組み合わせた 3D イメージのタブレットやスマートフォン、パソコンにリアルタイムに表示し、動的な表示アングル変更、拡大、縮小表示にも対応するアプリケーションを開発いたしました。お客様が施行後の状態をより具体的にイメージできるように、顧客満足度の向上に寄与しております。

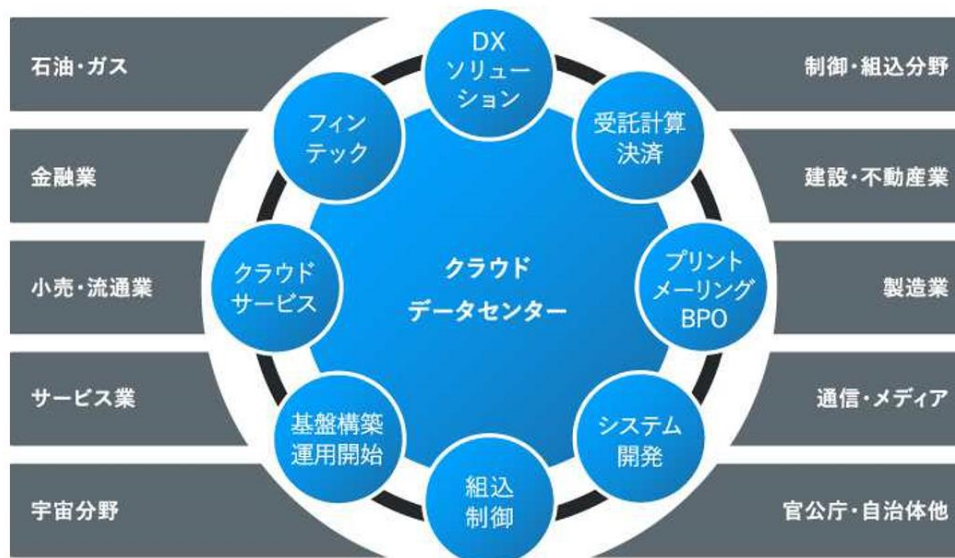
その他、画面下段ですが、食品製造業様向けには、お客様の工事設備等の保守、補修などに対する業者用発注のワークフローシステムの構築を行い、業務の統合および見える化を実現いたしました。

データ収集、提供を行うシステムのモダナイゼーションを実施し、データ価値の向上や操作性の改善による業務効率化を実現するなど、さまざまなシステム開発サービスを提供しております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

様々なサービスをお客様のビジネスに合わせ連携
クラウドデータセンターを軸に、ストックビジネスへ展開



©2021 I-NET CORP.All rights reserved

www.inet.co.jp

13

これは、当社のビジネスモデルの概念図です。画面の中央にあるクラウドデータセンターを軸として、多種多様なお客様のビジネスに合わせて、さまざまなサービスを連携し、ストックビジネスに展開していきます。

一つのサービス提供だけでなく、いろいろなサービスを提供していくことで、お客様の利便性向上に寄与します。当社から見ても、当然売上高や利益が増加しますし、他社からの参入障壁にもなります。幅広い業種、業態のお客様のビジネスにおいて、ITに関わるさまざまなサービスをワンストップで提供することを強みとしております。

システム開発だけではなく、データセンターの専業でもなく、システムの構築から運用、さらにはさまざまなクラウドサービスを提供できること、また、請求書や各種帳票類の印刷、封入、封緘、発送なども行っており、ITに関わる上流から下流まで、全ての工程で、かつセキュリティレベルの高いサービスを提供することで他社との差別化を図っております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

inet 2021年3月期業績概要（連結）

（単位：百万円・％）

	2020年3月期		2021年3月期		前年同期比	
	金額	比率	金額	比率	増減額	増減率
売上高	31,097	100.0	30,016	100.0	▲1,081	▲3.5
売上原価	24,000	77.2	23,211	77.3	▲789	▲3.3
売上総利益	7,096	22.8	6,804	22.7	▲292	▲4.1
販管費	4,594	14.8	4,648	15.5	54	1.2
営業利益	2,501	8.0	2,155	7.2	▲346	▲13.8
経常利益	2,531	8.1	2,279	7.6	▲251	▲9.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,672	5.4	1,494	5.0	▲177	▲10.6
1株当たり利益（円）	105.1	—	93.6	—	▲11.5	—

過去最高

©2021 I-NET CORP.All rights reserved

www.inet.co.jp

15

続きまして、2021年3月期の業績概要についてご説明いたします。

まずは損益計算書です。今年度と前年度の2期を比較した表になります。数字はご覧のとおり、今年度は売上高 300 億 1,600 万円、前年同期比で 3.5%減。営業利益 21 億 5,500 万円、前年同期で 13.8%減。経常利益 22 億 7,900 万円、前年同期比で 9.9%減。親会社株主に帰属する当期の純利益 14 億 9,400 万円、前年同期比 10.6%減となりました。

主にコロナ禍において、想定以上の影響を受けたシステム開発サービスにおいて減収減益となりました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



inet サービス区分別販売実績（連結）

（単位：百万円・％）

		2020年3月期	2021年3月期	増減	
				増減額	増減率
情報処理 サービス ①	売上高	10,819	11,861	1,041	9.6
	売上総利益	2,783	2,803	19	0.7
	売上総利益率	25.7	23.6	▲2.1	－
システム開発 サービス ②	売上高	18,924	16,936	▲1,987	▲10.5
	売上総利益	4,136	3,821	▲314	▲7.6
	売上総利益率	21.9	22.6	0.7	－
システム機器販売	売上高	1,353	1,217	▲135	▲10.0
	売上総利益	176	179	3	1.7
	売上総利益率	13.1	14.8	1.7	－
合計	売上高	31,097	30,016	▲1,081	▲3.5
	売上総利益	7,096	6,804	▲292	▲4.1
	営業利益	2,501	2,155	▲346	▲13.8
	営業利益率	8.0	7.2	▲0.9	－

（主な要因）

- ① データセンター利用が好調で増収。昨今のデジタル化の進展の影響等によりメーリングサービスの利用減、業容拡大を目的として戦略的に低利益率案件を獲得したため、利益率が低下。
- ② 新型コロナウイルスの感染症拡大に伴い、主として流通業・サービス業、石油業、及び製造業向けシステム投資の見直し、技術者の稼働率低下等により、減収・減益。

©2021 I-NET CORP.All rights reserved

www.inet.co.jp

16

こちらはサービス区分別の売上高と売上総利益および前年比を表したものでございます。

情報処理サービスは、売上高 118 億 6,100 万円、前年同期比で 9.6%増。売上総利益で 28 億 300 万円、前年同期比で 0.7%増となりました。

企業のテレワークや働き方改革のための投資など、コロナ禍でもお客様のデータセンターサービスなどの利用は順調に増加し、増収増益となりました。

売上総利益率は低下いたしました。業容拡大を目的に、戦略的に低利益率の案件を獲得したためでございます。

次に、システム開発サービスは、売上高 169 億 3,600 万円、前年同期比 10.5%減。売上総利益 38 億 2,800 万円、前年同期比 7.6%減となりました。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、主として運輸業、旅行業、石油業および製造業向けのシステム投資の見直しの影響を受けました。また、出勤抑制の下、受託開発プロジェクトの進捗や技術者の稼働率の低下といった要因もございました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



システム機器販売においても、各サービスに付随した機器販売の一部において、コロナ禍の影響により顧客の投資の見送り等があり、売上は減少いたしました。利益面では前年をやや上回る水準を確保いたしました。

inet サービス区分別販売実績（連結／4Qの状況）

（単位：百万円・％）

		1～3Q			4Q		
		2021年 3月期	前年比	増減率	2021年 3月期	前年比	増減率
情報処理 サービス ①	売上高	8,786	685	8.5	3,075	356	13.1
	売上総利益	2,005	▲109	▲5.2	797	128	19.3
	売上総利益率	22.8	▲3.3	—	25.9	1.3	—
システム開発 サービス ②	売上高	12,253	▲1,774	▲12.7	4,683	▲213	▲4.4
	売上総利益	2,627	▲445	▲14.5	1,193	130	12.3
	売上総利益率	21.4	▲0.5	—	25.5	3.8	—
システム機器販売	売上高	847	▲162	▲16.1	370	27	7.9
	売上総利益	113	▲12	▲9.5	66	15	29.4
	売上総利益率	13.4	1.0	—	17.9	3.0	—
合計	売上高	21,887	▲1,252	▲5.4	8,128	170	2.1
	売上総利益	4,747	▲566	▲10.7	2,057	274	15.4
	営業利益	1,267	▲606	▲32.4	887	260	41.4
	営業利益率	5.8	▲2.3	—	10.9	3.0	—

- ① 情報処理サービスは既存顧客案件が寄与し、4Qの売上高の増収額は拡大。同売上総利益率も前年比増加。
 ② システム開発サービスは、年度末にかけ、主に金融機関や石油業向けのビジネスが回復し、減収額は縮小。売上総利益は前年比増加。

次の画面をご覧ください。この表は、サービス区分別の第1クォーターから第3クォーターまでと、第4クォーターの売上高、売上総利益の推移です。情報処理サービスでは、1Qから3Qまでの累計では、売上高87億8,600万円、前年同期比8.5%増。売上総利益20億500万円、前年同期比5.2%減となりました。これに対し、第4クォーターのみでは、売上高30億7,500万円、前年同期比で13.1%増。売上総利益で7億9,700万円、前年同期比で19.3%増となり、1Qから3Qまでのペースを大幅に上回ってきております。

ガソリンスタンド向け受託計算の取り扱いの拡大、およびデータセンター事業において、既存顧客案件の増加が寄与し、第4クォーターの増収増益額が拡大いたしました。

次に、システム開発サービスでは、第1クォーターから第3クォーターの累計では、売上高122億5,300万円、前年同期比で12.7%減。売上総利益26億2,700万円、前年同期比14.5%減となりました。

サポート

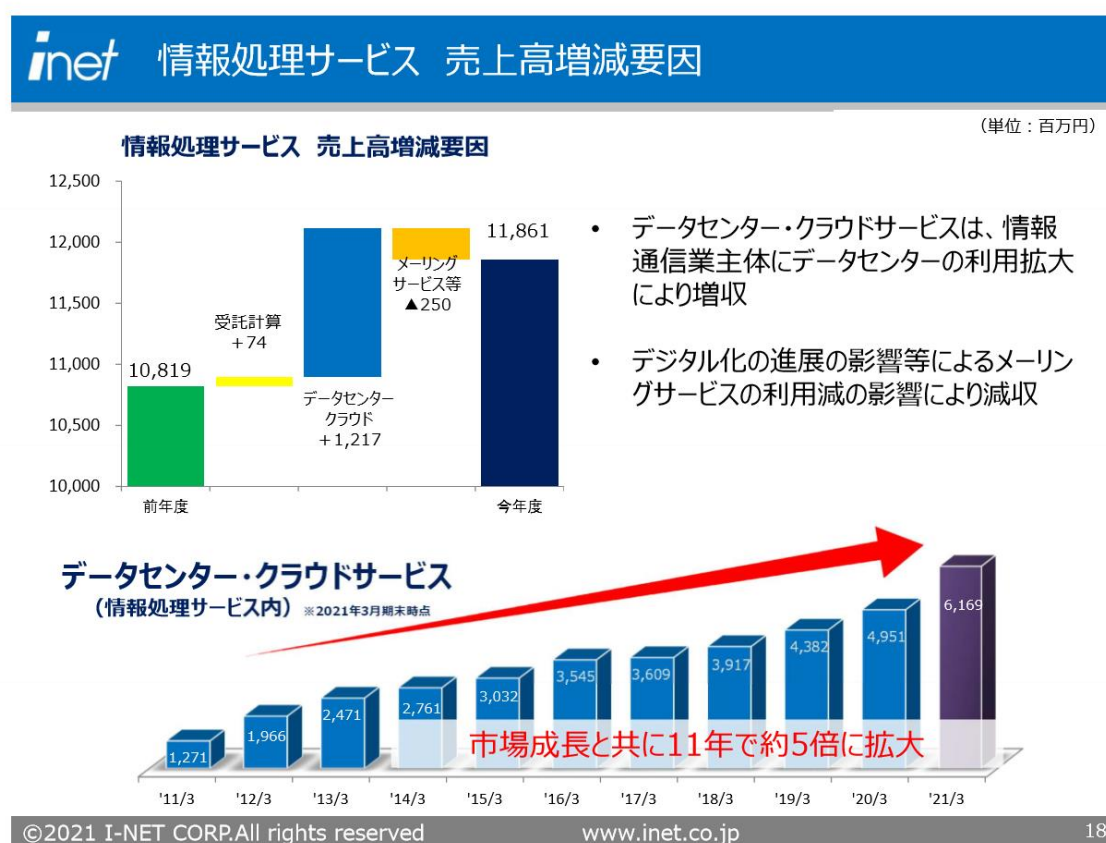
日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

情報処理サービスと同様に、第4クォーターのみでは売上高46億8,300万円、前年同期比で4.4%減。売上総利益11億9,300万円と、前年同期比12.3%増と、減収額は縮小しました。売上総利益では前年比で見ると増加となりました。

システム開発サービスは、年度末にかけて主に金融機関や石油業向けのビジネスが寄与したことで、4Qでは回復基調が高まりました。

システム機器販売においても、回復傾向が見られ、第4クォーターでは前年同期比で売上、売上総利益ともに増加いたしました。

参考として、当社が特に注力しているサービスについて、売上高の増減要因と年間推移をご紹介します。



まず情報処理サービスです。左上の棒グラフは、今年度の情報処理サービスの増減要因の内訳を記載したものでございます。メーリングサービス等の一部のビジネスにおいて、利用の減少があったものの、近年注力しているデータセンター、クラウドサービスにおける利用増加により増収となりました。

サポート

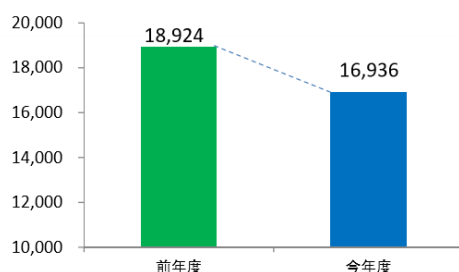
日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

下のグラフは、情報処理サービスのうち、ここ数年当社が最も注力してきたデータセンター、クラウドサービスの売上高推移です。11年間で市場の成長とともに、約5倍の売上高を誇るビジネスに成長いたしました。引き続き、成長ドライバーとして注力していく予定でございます。

inet システム開発の売上高推移

(単位：百万円)

システム開発サービス 売上高増減



- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大以前まではソフトウェア投資需要が高く、堅調推移
- ・ 今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によるシステム投資の見直し等の影響を受けて減収。

システム開発サービス

※2021年3月期末時点



ソフトウェア投資需要の増加と共に順調に推移

©2021 I-NET CORP. All rights reserved

www.inet.co.jp

19

次のページは、システム開発サービスです。この上のグラフは、前年度と今年度のシステム開発サービスを比較したものでございます。2021年3月期の減収の主な理由は、先ほどご説明のとおりでございますが、新型コロナウイルス感染症拡大以前までは、業務の効率化、人手不足への対応をはじめとした企業の競争力強化のためのソフトウェア投資需要の基調は安定して高く、順調に売上高を推移させることができておりました。

なお、今後は中断、延期になったシステム開発案件についても着実に対応し、従来の成長路線に戻ることを目指してまいります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



inet 貸借対照表（連結）

（単位：百万円・％）

	2020年3月期末		2021年3月期末		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	9,628	32.5	10,561	32.9	932	9.7
固定資産 ①	19,960	67.5	21,494	67.1	1,534	7.7
資産合計	29,589	100.0	32,056	100.0	2,466	8.3
流動負債	8,407	28.4	8,625	26.9	217	2.6
固定負債	5,957	20.1	7,218	22.5	1,260	21.2
負債合計 ②	14,365	48.5	15,843	49.4	1,478	10.3
純資産 ③	15,224	51.5	16,212	50.6	988	6.5
負債・純資産合計	29,589	100.0	32,056	100.0	2,466	8.3

（主な要因）

- ① データセンター設備の増強に伴う有形固定資産の増672百万円、出資や評価額の見直しによる投資有価証券の増637百万円。
- ② 長期借入金の増1,279百万円、買掛金の増306百万円、リース債務の減少190百万円。
- ③ 利益剰余金の増801百万円、その他有価証券評価差額金の増146百万円。

©2021 I-NET CORP.All rights reserved

www.inet.co.jp

20

次に、貸借対照表です。流動資産残高は 105 億 6,100 万円となり、前期末比で 9 億 3,200 万円減少いたしました。固定資産残高は 214 億 9,400 万円となり、前期比末で 15 億 3,400 万円増加いたしました。これは主に、データセンター設備増強に伴う固定資産の増 6 億 7,200 万円。また、出資や評価額の見直しによる投資有価証券の増 6 億 3,700 万円があったことによるものです。

流動負債残高は 86 億 2,500 万円となり、前期末比で 2 億 1,700 万円増加いたしました。固定負債残高は、72 億 1,800 万円となり、前期比末で 12 億 6,000 万円増加しています。

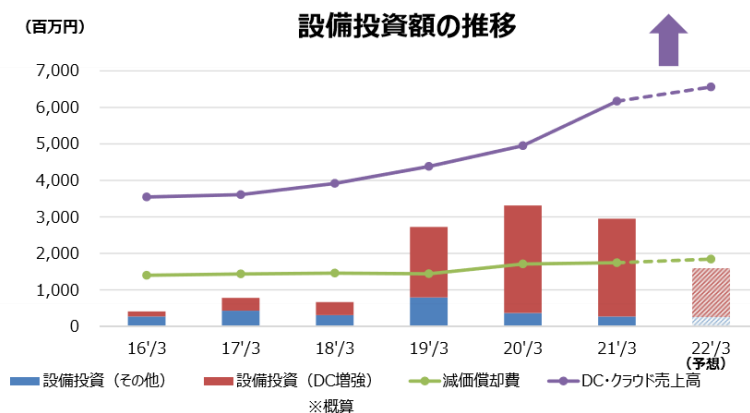
サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



inet 設備投資額の推移

- 当社サービスの軸となるデータセンターを中心に設備投資。お客様のデータセンターのご利用と共に、設備の増強を継続的に実施。
- DC・クラウド売上高は順調に増加。
- 総投資額は2020年3月期がピークとなる見込み。
- 減価償却費は当面横ばい推移見込み。



©2021 I-NET CORP. All rights reserved

www.inet.co.jp

21

次に、設備投資額の推移についてご説明いたします。

2021年3月期のデータセンターの設備投資額は、概算で26億7,900万円となり、前年同期比で約3億6,000万円増加しています。お客様のデータセンターのご利用とともに、データセンター設備の増強を継続的に実施してきており、データセンターおよびクラウド関連の売上も増加しております。今年度も増加の計画ですが、計画以上に引き上げられるよう、ポテンシャルは十分あると考えています。

なお、総投資額は2020年3月期が当面のピークとなる見込みです。減価償却費は当面横ばい推移となる見込みであります。

引き続き、お客様のニーズにフレキシブルに対応し、データセンター施設の増強のための支出と、売上とのバランスを勘案しつつ、注力ビジネスであるデータセンターサービス、クラウドサービスを成長させることで事業規模拡大に務めてまいります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



inet キャッシュ・フロー計算書（連結）

（単位：百万円）

	2020年3月期期末	2021年3月期期末	前年同期比
	金額	金額	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,965	① 3,419	▲545
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲3,872	② ▲2,929	943
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲308	③ 454	763
現金及び現金同等物の増減額	▲216	944	1,160
現金及び現金同等物の期首残高	3,299	3,083	▲216
現金及び現金同等物の期末残高	3,083	4,027	944

（主な要因）

①増加…税金等調整前当期純利益2,195百万円、減価償却による資金の内部留保で1,744百万円
仕入債務の増加306百万円等。

減少…法人税等の支払564百万円等。

②投資有価証券の売却による収入352百万円があったものの、主に既存顧客の大型受注に伴うデータセンターの設備増設を初めとした有形固定資産の取得による2,306百万円の支出、また投資有価証券の取得による支出613百万円。

③有利子負債の増加1,446百万円、配当金の支払692百万円。

©2021 I-NET CORP.All rights reserved

www.inet.co.jp

22

次に、キャッシュ・フロー計算書です。

営業活動の結果得られた資金は 34 億 1,900 万円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益 21 億 9,500 万円、減価償却による資金の内部留保で 17 億 4,400 万円の増加。および法人税等の支払 5 億 6,400 万円等があったことによるものです。

投資活動の結果使用した資金は 29 億 2,900 万円となりました。これは投資有価証券の売却による収入 3 億 5,200 万円があったものの、既存顧客の大型案件受注に伴うデータセンターの設備増創設等の支出、23 億 600 万円があったことによるものでございます。

財務活動の結果、増加した資金は 4 億 5,400 万円となりました。有利子負債 14 億 4,600 万円が増加いたしました。配当金の支払 6 億 9,200 万円等が減少要因となりました。

以上の結果、現金および現金同等物の期末残高は、前連結会計年度と比較して 9 億 4,400 万円増加し、40 億 2,700 万円となりました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



inet 2022年3月期業績予想（連結）

（単位：百万円・％）

	中計 初年度			2年度			最終年度	
	2019年 3月期	2020年 3月期		2021年 3月期			2022年 3月期	
	実績	計画	実績	当初 計画	修正 計画	実績	当初 計画	修正 計画
売上高	27,591	30,000	31,097	31,500	30,000	30,016	33,200	32,500
営業利益	2,345	2,450	2,501	2,580	2,000	2,155	2,730	2,330
ROE	10.9	10.9	11.3	11.0	—	9.5	11.1	10.0

計画1,2年目の状況

- ・ 9期連続増収、当期純利益は10期連続増益となり、計画の進捗を大きく前進
- ・ データセンタークラウドサービスが好調
- ・ システム開発分野がIT設備投資需要の高まりにより堅調
- ・ 2年度において、主に、新型コロナウイルス感染症拡大によるシステム開発のサービス拡大のプロジェクトの延期・中止の発生に伴い、減少。

最終年度の計画

- ・ お客様とのエンゲージメント強化（より多くのお客様との接点拡大、新規取引のバックアップ体制整備）
- ・ IoT、フィンテック、ビッグデータ、AI、テレワーク等に対する商品・サービス力の向上
- ・ クラウドサービスの推進強化

©2021 I-NET CORP.All rights reserved

www.inet.co.jp

23

次に、2019年度よりスタートさせた、中期経営計画の進捗状況についてご説明いたします。

1年目の結果は、売上高、営業利益ともに計画を達成し、進捗を大きく前進させるスタートとなりました。これは主にデータセンター、クラウドサービスの好調、そしてシステム開発分野がIT設備投資需要の高まりにより堅調であったことが要因です。

2年目においては、新型コロナウイルス感染症拡大によりシステム開発サービスにおける減収減益が大きく影響いたしました。2021年1月29日に、通期業績予想の修正を発表させていただいたものの、好調なデータセンターサービスをはじめとする情報処理サービスや、システム開発案件獲得に向けた取り組みが功を奏し、売上が修正結果を上回り、営業利益も7.8%程度上回る結果になりました。

3年目につきましては、2年目に発生した新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当初計画した業績予想を修正させていただきました。

現在の中期経営計画の方向性は変わらず、各施策は最終年度においても継続的に取り組むものの、中期経営計画策定時には想定していなかったコロナ禍の影響を精査いたしました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



お客様とのエンゲージメント力を強化し、お客様との接点の拡大や取引の進行、引き続き好調なデータセンターサービス、クラウドサービスを中心に、前期に中断、延期になったシステム開発案件にも着実に対応することで、従来の成長路線に戻ることを目指してまいります。

inet 3密データ分析サービスの提供開始 i-visible CO₂

2020年10月、IoT・クラウドによる新型コロナ対策3密データ分析サービスの提供を開始



【特長】

- アラート通知機能で最適な環境を提供
- 一目でわかるユーザインタフェース
- withコロナ環境における感染リスク低減
- お客様の負担を軽減！データは安心安全なインターネットデータセンターへ

©2021 I-NET CORP.All rights reserved

www.inet.co.jp

25

ここからは、中期経営計画の取組みとして、注力事業とトピックスについてご説明いたします。

2020年10月にコロナ禍での課題を解決する、新たにCO₂温湿度センサー、これを利用した密集空間の診断サービス、Dream Data Sensing、i-visible CO₂の提供を開始いたしました。i-visible CO₂は、CO₂ならびに温湿度を計測する小型のIoTデバイスで、企業や商業施設、学校や塾など、人々が密集する空間のCO₂濃度を常時モニタリングすることで、スマートフォンやパソコンで計測値を確認することが可能になります。

IoTデバイスで収集した各データは、アイネットのデータセンターへインターネット経由で送信され、環境分析、クラウドアプリケーションで即時に解析されます。CO₂増減量の予想に基づいて、換気が必要と判断された場合は、あらかじめメールやサイネージに注意喚起を行い、安心、安全をお客様に提供いたします。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



そして、このサービスはデータセンター事業を展開する当社があらゆるデータをデータセンターへ、そして注力するプラットフォーム戦略の一環であり、大変重要なものとなってまいります。

今後は、この CO₂ 以外にも花粉やほこり、黄砂などの粒子測定やタバコ、アンモニア臭などの測定を対象として、Dream Data Sensing のシリーズのラインナップを増やしていく予定でございます。

 **働き方改革ソリューション**

働き方改革をはじめとするテレワークに適したサービスを積極展開



【リモートデスクトップ】
自宅など、いつでもどこでも職場のPCを利用可能



【ビジネスチャット】
手軽にできるビジネス専用チャットツール



【Web会議システム】
高音質、高画質のビデオ会議ツール



【ファイル共有サービス】
セキュアなファイル共有ツール



2020年8月7日（金）
「私の職場でも在宅勤務ができるかも？」
ツールや事例についてご紹介

昨今のテレワークの動向や背景や当社ツールを用いた様々なテレワークの実現方法についてご説明（仮想デスクトップサービスやWeb会議等）



2020年11月18日（水）
「大規模・オンプレミスでも安心安定稼働！ビジネスチャット導入支援セミナー」

働き方改革をさらに加速させるチャットツールをオンプレミス（セキュリティ面の強化）での導入いただくために、活用事例や運用面を詳しく解説したセミナーを実施

©2021 I-NET CORP.All rights reserved www.inet.co.jp 26

次の画面をご覧ください。当社では、お客様のニーズが高い働き方改革に対応するソリューションをご用意し、積極的な営業活動に取り組んでいます。画面左上の赤いロゴのリモートデスクトップサービス、VIDAAS、お客様のどこでも職場のPCを利用することが可能になります。画面右上の緑色のロゴ、これは ChatLuck、メールではなく社内外の方とチャットでコミュニケーションを行って、効率化を、高いセキュリティ環境で実現いたします。

さらに、セキュアなファイル共有ツールの Cloudstor など、テレワークの実現には書かせないツールを提供しています。

また、働き方改革、デジタルトランスフォーメーション、そして企業のセキュリティ対策などを中心に、自社だけではなく、パートナー企業様と連携して、オンラインセミナーなども実施してまい

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

りました。今後も引き続き、顧客ニーズを先取りしてニーズが高いオンラインセミナーを開催し、当社の営業力強化に努めてまいります。

inet 広がる宇宙開発ビジネス

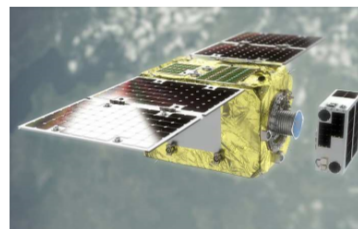
1977年の気象衛星ひまわり初号機開発からスタートし、 40年以上宇宙開発に貢献

【アイネットの宇宙事業の強み】

- 40年以上人工衛星のシステム/サブシステム設計、検査/試験、運用/評価解析を提供
- 昨年12月にカプセルを投下した「はやぶさ2」の開発プロジェクトに携わり、その他にも多くのプロジェクトにも携わる
- 有力宇宙スタートアップの殆どから衛星開発協力の依頼があり、今後更に連携を強化

【新たな宇宙事業への取り組み】

- 衛星データ活用、超小型衛星開発事業
 - ・ 東京工業大学を中心とした産学連携による超小型天文・陸・海観測衛星プロジェクトに参画(JAXA革新的衛星技術実証3号機に搭載)
- アンテナ運用事業
 - ・ アンテナの非稼働時間を減らし稼働率を上げることで、アンテナ運用のストックビジネス化を図る



※デブリ除去衛星開発：打上げ衛星の組立・試験・運営等、製造及びサービスに係る業務をご支援



©2021 I-NET CORP.All rights reserved

www.inet.co.jp

27

これは、当社が40年以上取り組み、注力事業としている宇宙開発事業でございます。

宇宙ビジネスのトレンドは、これまで国の宇宙機関により莫大な予算をかけて実施されてきました。しかし近年では民間企業が次々とチャレンジして、宇宙スタートアップとして取り組んでいます。これは技術の進歩による人工衛星分野の小型化や低コスト化、スタートアップが多い米国の影響などが挙げられます。

当社は1977年のひまわり初号機の頃から宇宙開発に携わり、この分野ではもう40年以上にわたる技術や経験を基にした知見を有しています。

近年では、多くの宇宙スタートアップ企業から衛星開発の協力依頼をいただいています。中でも、今後は将来有望な人工衛星ビジネスへ取り組みを強化してまいります。

例えば衛星データ活用事業においては、東京工業大学様を中心とした産学連携による超小型天文・陸・海観測衛星プロジェクトがJAXAの革新的衛星技術実証3号機のテーマとして今、実験中であ

サポート

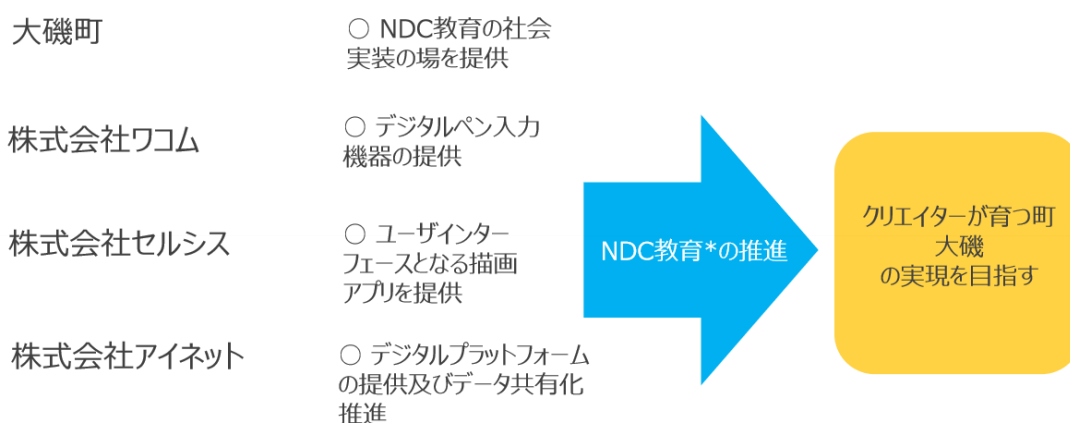
日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

ります。当社は、今後参画しているスタートアップと連携を強化しながら、漁業、農業、環境の課題解決に貢献できるよう取り組んでまいります。

また、アンテナ運用事業では、複数の衛星から電波を効率的に受信し、稼働率を上げ、データは衛星事業者に還元するビジネス化を図ってまいります。

inet アート教育におけるデジタルプラットフォーム構築（自治体との連携）

大磯町における「デジタルクリエイティブ教育」を推進するパートナーシップ協定を締結



※NDC（ニューノーマル・デジタル・クリエイティブ）教育

これまでペンや筆などで紙に描いて行われてきた「アナログの創造活動」をデジタル環境で行うことに加え、ネットワークの利便性を活用して作品を共有し共同で作業するなど、「デジタルならではのメリット」を生かした創作活動を、教育に積極的に取り込むもの。生徒のクリエイティビティを刺激し、生徒同士でインスピレーションを与え合う中で、自然な形でデジタル技術に触れ、体験の共有を介してネットワークの世界における道徳観などを育み、初・中等教育の早い段階からクリエイティビティを開花させることに加え、将来にわたってアートに親しみ続ける素地を養うことを目指しています。

©2021 I-NET CORP.All rights reserved

www.inet.co.jp

28

昨年 11 月に神奈川県の大磯町様、株式会社ワコム様、株式会社セルシス様と当社で、大磯町の初等、中等教育の質のさらなる向上を目指すデジタル教育を推進するために相互連携を強化する、パートナーシップ協定を締結いたしました。

本プロジェクトの推進に対して、アイネットはデジタルプラットフォームを担うネットワーク環境や、データの共有化推進にかかるサービスを提供します。また、ワコム様は、液晶ペンタブレットや、ペンタブレットなど、デジタルペン入力機器を。セルシス様は、ユーザーインターフェースとなるアプリケーションを提供します。

そして、3 社がそれぞれ得意分野を持ち寄って、大磯町の実際の教育現場を舞台として連携し、ニューノーマル時代に即したクリエイティブなデジタル教育を推進してまいります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

情報処理サービス（ストックビジネス）の拡大

【官公需カードシステム】

- 各都道府県の公共機関（県警本部、病院、県庁など）が、緊急時・災害時に優先的に給油可能な一括契約の下、各県内のどのメーカーのガソリンスタンドでも同一カードで給油できるシステムを提供。
- 全国各地の石油組合向けに展開、4県導入済み。今後も拡大。

【プロパンガス事業向けサービス】

- L P G販売管理システムを自社クラウド上で運用。
- 開発～運用～B P O～コールセンターをワンストップで提供。
- 営業体制を強化、更なる拡販を図る。

～官公需カードシステムのイメージ～



当社のストックビジネスの拡大の一つとして力を入れているガソリンスタンド向け受託計算サービスの二つのトピックスについてご説明します。

一つ目は、全国各地の石油組合様向けに展開している官公需カードシステムについてです。各都道府県の県警本部や県の組織などの公的機関、一括して地域のガソリンスタンドと契約する仕組みをつくり、緊急車両が自由に給油することを可能とするサービスを実現させました。

ガソリンスタンド側で発生していた手書き伝票の作成や手間を削減し、業務の効率化も実現しています。また、これは実際には緊急時や災害時では一般市民に先立って給油することができ、人命救助や災害時の早期対応についても貢献することにつながってまいります。

二つ目は、プロパンガス事業向けサービスについてご紹介いたします。

全国で同様な仕組みを他社クラウドで使っておりますが、当社はLPG販売管理システムを自社データセンターで運用しています。また、開発～運用～BPO～コールセンターをワンストップで提供しています。例えば利用者に送付する請求書を紙だけでなく、Web請求書で実現が可能で、お客様に対して一歩先のきめ細かいサービスを提供しており、今後さらなる販売拡大を図ってまいります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

健康経営の推進 & ダイバーシティ推進

アイネットは、社員が経営における最大の財産であるという考えのもと、社員が心身ともに健康であることこそが、持続的な企業価値向上の源泉であると考え、健康経営を推進します。そして、社員のみんなが安心して力を発揮できる労働環境をつくるため、ワークスタイルの変革を推進します。

ホワイト500 (3年連続認定)



「健康に関する主な取り組み」

- 健康経営を宣言
- 最高健康責任者（CHO）のもと、人事部・健康支援室・健康保険組合が連携

※詳細はこちらまで



Y-SDGs* (上位 Superior 認証)

横浜市SDGs認証制度



「概要」

地域、社会、環境、ガバナンスの中で、特に地域面で高い評価を獲得

引き続きSDGsへの取組みに注力してまいります。

※Y-SDGs = SDGs達成に向けて活動している企業等を「環境」「社会」「ガバナンス」「地域」の4分野・30項目で評価し、取組状況に応じて3つの区分（最上位 Supreme、上位 Superior、標準 Standard）で認証する横浜市の認証制度

当社では、社員が経営における最大の財産であるという考えのもと、社員みんなが心身共に健康であり、安心して力を発揮できるよう、健康経営の推進およびダイバーシティ推進に力を入れております。

今年の2月には、ホワイト500認定を再度取得し、これで3年連続の取得になりました。また、今年の3月には、横浜市さんのSDGs認証制度であります、Y-SDGsにおいて上位Superior認証を取得いたしました。Y-SDGsは、地域、社会、環境、ガバナンスの4分野、30項目で評価され、当社は特に地域面において高い評価をいただきました。今後も持続可能な社会の実現に向け、SDGsの達成に向け注力してまいります。詳細につきましては、後ほど資料をご覧くださいと思います。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

inet 2022年3月期業績予想（連結）

（単位：百万円・％）

	2021年3月期		2022年3月期		前年同期比	
	金額	比率	金額	比率	増減額	増減率
売上高	30,016	100.0	32,500	100.0	2,483	8.3
売上原価	23,211	77.3	25,120	77.3	1,908	8.2
売上総利益	6,804	22.7	7,380	22.7	575	8.5
販管費	4,648	15.5	5,050	15.5	401	8.6
営業利益	2,155	7.2	2,330	7.2	174	8.1
経常利益	2,279	7.6	2,330	7.2	50	2.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,494	5.0	1,600	4.9	105	7.0
1株当たり利益（円）	93.6	—	100.2	—	6.5	—

過去最高

©2021 I-NET CORP.All rights reserved

www.inet.co.jp

32

次は、今期の業績予想をご説明いたします。

5月7日発表の決算短信で今年度の業績予想を開示いたしましたが、こちらが前期実績と今期予想を通期で比較した表になります。先ほどご説明させていただいたとおり、当初中期経営計画で策定した売上高および営業利益につきましては、見直しをさせていただきました。

売上高は325億円を突破することで、過去最高売上高を更新。利益面では売上総利益は過去最高益を計画しております。また、伸び率だけを申し上げますと、売上高では8.3%増、営業利益は8.1%増、経常利益は2.2%増の伸びとなっており、親会社株主に帰属する四半期純利益は7%の増加を予定しています。また、1株当たり利益は100円20銭を予定しております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



inet サービス区分別 売上・売上総利益予想（連結）

（単位：百万円・％）

		2021年3月期	2022年3月期	増減	
				増減額	増減率
情報処理 サービス ①	売上高	11,861	12,500	638	5.4
	売上総利益	2,803	2,890	86	3.1
	売上総利益率	23.6	23.1	▲0.5	－
システム開発 サービス ②	売上高	16,936	18,660	1,723	10.2
	売上総利益	3,821	4,250	428	11.2
	売上総利益率	22.6	22.8	0.2	－
システム機器販売	売上高	1,217	1,340	122	10.1
	売上総利益	179	240	60	34.1
	売上総利益率	14.8	17.9	3.1	－
合計	売上高	30,016	32,500	2,483	8.3
	売上総利益	6,804	7,380	575	8.5
	営業利益	2,155	2,330	174	8.1
	営業利益率	7.2	7.2	0.0	－

©2021 I-NET CORP.All rights reserved

www.inet.co.jp

33

これは、先ほど申し上げた業績予想値をサービス区分別に表しています。

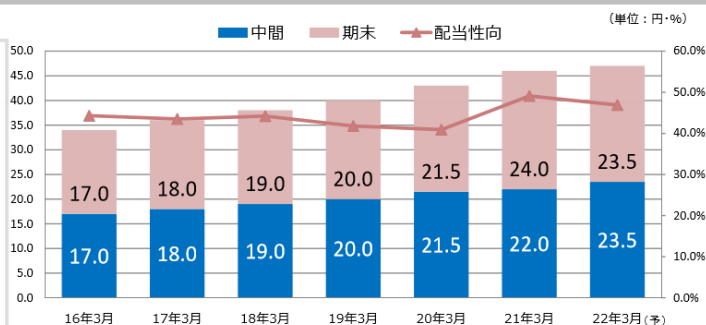
情報処理サービス、システム開発サービス、システム機器販売、全てのサービス区分において増収増益を計画しております。各数値は後ほどご覧になっていただければ幸いです。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



《配当方針》
将来の資金需要に備え
内部留保しつつ
安定配当を継続実施



※16年10月1日に株式分割をしておりますが、配当実績(予想)で記載しております。(分割影響調整せず)

1 株当たり年間配当金の計画 (10期連続増配予定)

2020年3月期

43.0円
中間 (21.5円)
期末 (21.5円)



2021年3月期

46.0円
中間 (22.0円)
期末 (24.0円) ※



2022年3月期

47.0円
中間 (23.5円)
期末 (23.5円)

※2021年4月に創立50周年を迎え、株主の皆様への感謝の意を込め、期末に記念配当2円を含め、増配します。

最後に、配当政策についてご説明いたします。

当社は、安定配当を実施することを基本方針としています。配当金につきましては、一昨年度は3年増配し、年間43円といたしました。そして、前期も今年4月に創立50周年を迎えることから、記念配当2円を含め、3円増配し、年間46円にいたしました。今期はさらに1円増配とし、47円の予定であります。なお、これで10期連続の増配となります。

参考までに、上の折れ線グラフは配当性向です。配当性向は、おおむね40%台前半で推移しておりましたが、2021年3月期は記念配当もあり49%台となっております。2022年3月期は、およそ47%を見込んでいます。

この後のページにつきましては、appendix となりますので、後ほどご覧になっていただければ幸いです。

最後になりましたが、弊社グループ一丸となり、力を合わせ、本日ご説明いたしました計画数値を達成し、皆様をはじめとしたステークホルダーの方々から、より強いご信頼をいただけるよう、努力を重ねてまいります。一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

私からのご説明は以上でございます。ご清聴、誠にありがとうございました。

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasia.com



質疑応答

司会：坂井社長、ありがとうございました。これより、質疑応答に移らせていただきます。いただいた質問を読み上げ、回答させていただきます。ご質問をいただきました。

市場区分見直しに対する考え方はどうでしょうか。プライム市場を目指すのでしょうか。回答をお願いいたします。

坂井：ご質問ありがとうございました。では、内田常務、ご返事をお願いします。

内田：内田からお答えさせていただきます。東証一部の市場区分でございしますが、来年の4月以降ということで、われわれとしても、会社としては現在プライム市場に申請を考えております。これについては、プライム市場という信用力、ブランド力、また、株式の流動性維持やTOPIX採用の[音声不明瞭]ということと、新卒採用での影響などのメリットを考えて、こちらでプライム市場を申請する予定です。6月30日が基準ということでございしますが、[音声不明瞭]全ての基準をクリアする見込みと考えております。

また、ハイレベルなコーポレートガバナンス・コードの順守が求められると思いますが、こちらについても適切に対応して、問題なく運営していきたいと考えております。以上です。

司会：ありがとうございました。その他、質問はございますでしょうか。ご質問いただきました。

中期経営計画の進捗状況について教えてください。ご回答をお願いいたします。

坂井：事業統括をしています、鰐淵専務、お願いします。

鰐淵：それでは、私から中期経営計画の進捗状況についてご説明申し上げます。

企業のデジタルトランスフォーメーションへの取り組みという観点から必要不可欠な、私どもでいうデータセンターサービス、あるいはクラウドサービスの需要は非常に強くてですね。ストックビジネスであります情報処理サービス全体は好調を維持する、これは先ほど社長の坂井からもご説明申し上げたとおりです。

しかしながら、コロナの影響で、システム開発サービスにおけるプロジェクトの延期、あるいは中止というか、情報処理サービスにおけるメーリングサービスの取り扱いの減少、こういう部分がありまして、今期、中期経営計画の2年目の数字であります、これが、売上高、営業利益ともにほぼ下回ると。これは先ほど申し上げたとおりです。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



これを受けまして、今期は中期経営計画の最終年度になりますが、現在の中期経営計画の方向性は変わらず、各施策は最終年度においても継続的に取り組むものの、中期経営計画策定時は想定していなかったコロナ禍の影響[音声不明瞭]修正させていただきました。これは先ほど社長の坂井から説明させていただいたとおりです。売上高、当初は 332 億円だったものを 325 億円に下方。営業利益も当初は 27 億 3,000 万円を目標としておりましたが、これを 23 億 3,000 万円に修正いたしました。

坂井： 今後は、ただ考え方は変えておりませんので、お客様のデジタルトランスフォーメーションに積極的な対応ということで、われわれの得意分野を[音声不明瞭]ビッグデータ、AI、フィンテック等に対する商品、サービス力の向上、それから既存のクラウドサービスの推進という部分を含めて今後進めてまいりたいと思います。以上でございます。

司会： ありがとうございます。その他、ご質問はございますでしょうか。

他に質問もないようですので、これにて決算説明会を閉会とさせていただきます。

坂井： 皆さん、貴重なお時間、本当にありがとうございました。

司会： この後、アンケート画面が表示されますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。なお、本日の模様は後日アーカイブを当社ホームページにて公開いたします。

本日は、お忙しい中ご参加いただき、誠にありがとうございました。

[了]

脚注

1. 音声不明瞭な箇所に付いては[音声不明瞭]と記載

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com



免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com